

② 一般会計は市の予算の中心 最も大きな「おさいふ」です

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。より良い地域社会を実現するため、市民が納める税金などのお金をあらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。

なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。

歳入

市の施設をつくるためなどの目的で行う「市の借金」です。市債は誰でも買うことができます。

関連記事◎P.20

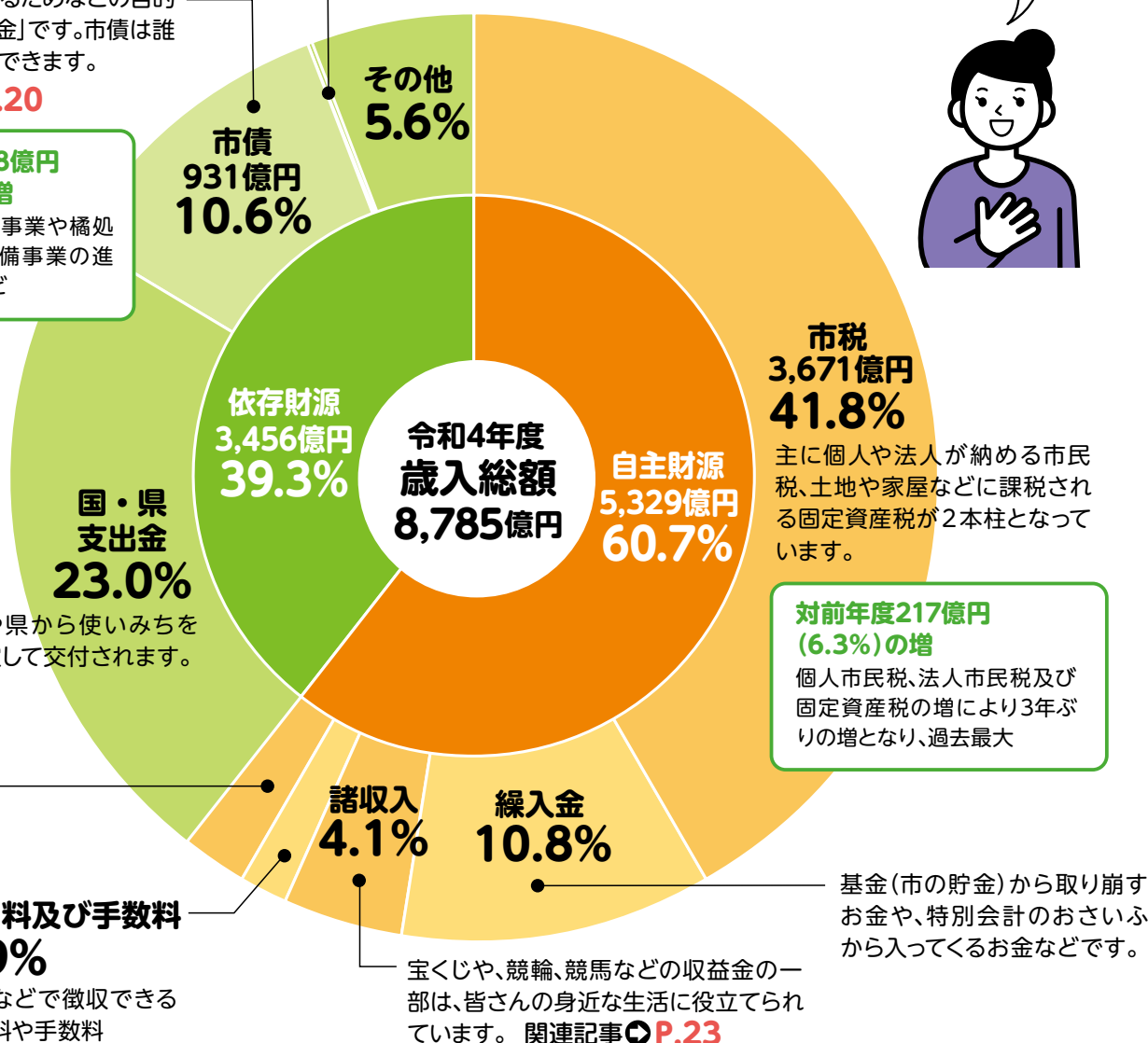
対前年度198億円
(27.0%)の増

本庁舎等建替事業や橋処理センター整備事業の進捗による増など

地方交付税0.1%

地域(地方自治体)ごとの税収の差を調整するために国から配分されるお金です。

私のお金が社会のために活かされるのですね!



ことばの解説②

自主財源と依存財源

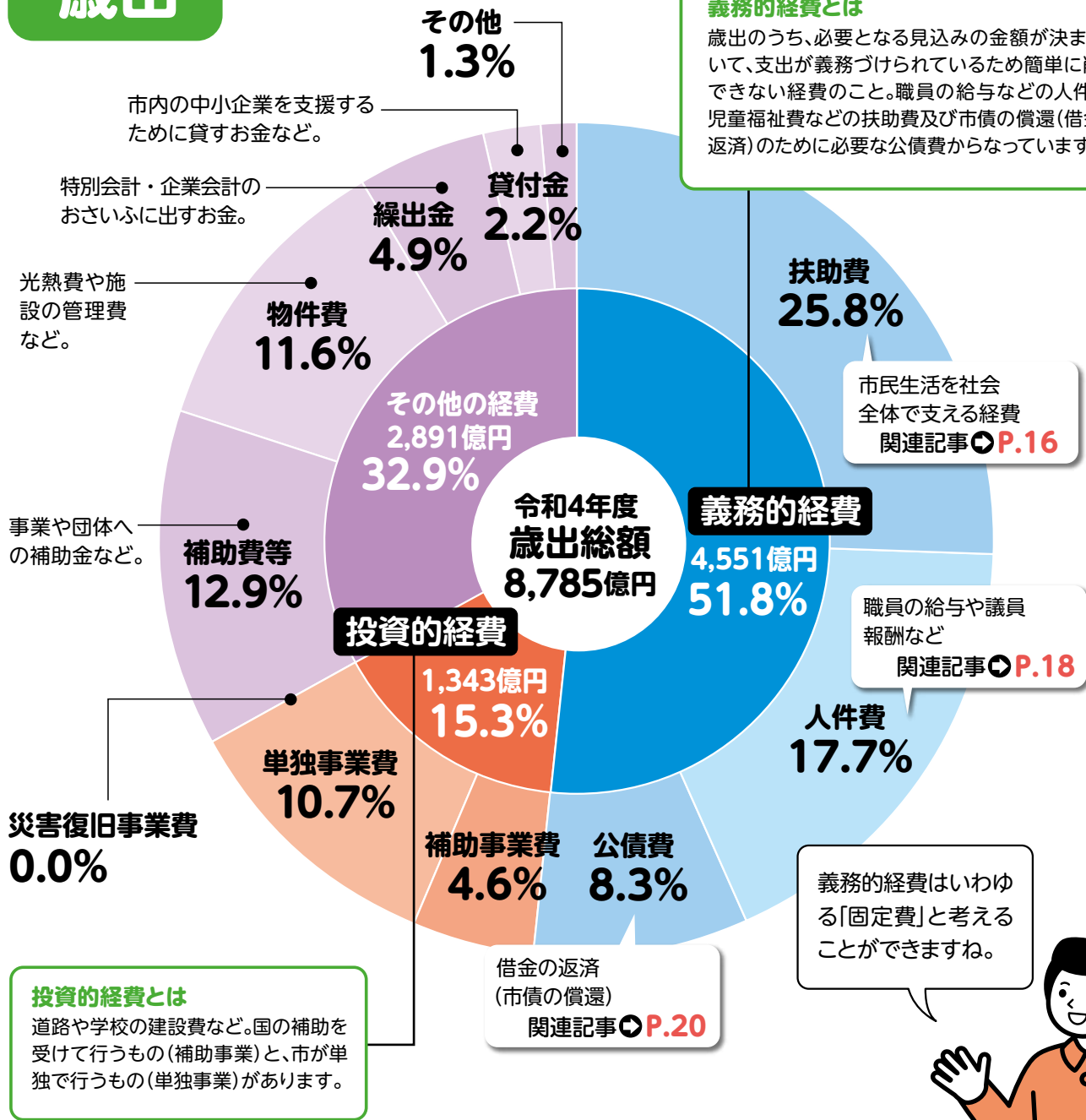
「自主財源」は市が自主的に集めることのできるお金のことで、この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。一方、「依存財源」は国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

令和4年度 一般会計予算

予算規模 8,785億円は、
対前年度577億円(7.0%)の増で
8年連続で過去最大の規模

過去の減債基金借入金(656億円)を除いた場合
8,129億円(対前年度573億円(7.6%)の増)

歳出



減債基金※新規借入金239億円

厳しい財政状況においても、「最幸のまち かわさき」の実現に向けた取組を切れ目なく推進します。

24年度決算からの借入総額は895億円となっています。

※市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積み立てることを目的に設置された基金です。

減債基金借入金の返済について

減債基金借入金については、当面の措置として、将来の市債償還に支障を及ぼすことがない範囲で行っていますが、早期の解消が必要であることから、市民サービスの安定的な提供と、財政状況のバランスに配慮しながら、可能な限り早期の返済に努めます。 関連記事▶P.22